



ヒューマンハーバー

3・4月号 協同組合ハイコープ組合報
Vol.213 2014年(平成26年)3月28日(金)発行



◆2/6 新春経済公開講演会
「景気の行方と金融市場の動向」
講師 信州大学経済学部 教授 真壁 昭夫氏



◆11/7 長野本部主催 経営者研修
「人生後半の段取り術」講師 山見インテグレーター
代表 山見 博康 氏

新春経済講演会を開催

民主党政権下の2012年8月、3党合意で成立した消費税増税法に沿って、消費税率がおよそ4月1日、5%~8%に上がることになりました。そして来年10月に10%に税率を上げ、税収増加分すべてを社会保障費にあてるという合意であったかに記憶しています。

この実現のため俗にいうアベノミクス政策で1.日銀が市場に流す金を増やす金融緩和、2.公共事業などを通じて景気を刺激する財政政策、3.規制緩和や企業向け減税、政策金融といった成長戦略の3本の矢からなる構想を示し、輸出を増やして企業の業績を上向かせ株価を上げる、また会社員の給料を増やし消費を促し経済を成長させ「好循環」を目ざすということでもあります。

先般2月6日、ハイコープ主催の新春経済講演会で招聘した信州大学経済学部教授・真壁昭夫氏は、安倍首相は何としてもデフレ脱却、好循環経済を目ざして頑張っているとの評。その時の受講報告をメンバーからいただきましたので2面以降に掲載します。

その真鍋教授が3月24日NHKラジオ・ビジネス展望で、「頑張っている日本経済に暗雲が立ちこめてきている。それはウクライナ・クリミア問題であり、中国の経済、特に中国金融市場の未熟さが浮上、そしてオバマ大統領支持率の低下と中間選挙、これらは好循環経済を目ざすアベノミクス政策にとってリスク要因となってきた」と解説されていました。

1

CONTENTS

巻 頭	1
新春経済講演会受講レポート 「新春特別講演会を受講して」 (有)アイ・シー・エス 宮澤 弘樹	2
組合創立35周年改組25周年 記念事業報告	5
長野地区本部事業報告1	6
「人生後半段取り術・研修会から」 (株)クリーン・ワーク 花岡 篤	
長野地区本部事業報告2 本部からの連絡	7
写真で綴る関連事業・スケジュール	8
PETIT情報・編集後記	8